

ATND1061LK ATND1061DAN

ビームフォーミングアレイマイクロホン

取扱説明書 -本体編-

Japanese

目次

安全上の注意	5
本製品について	5
電池について(赤外線リモコン)	6
設置上の注意	7
お手入れ	8
同梱品の確認	9
各部の名称と機能	11
マイクロホン	11
ATND1061LK	11
ATND1061DAN	12
インジケーター	13
赤外線リモコン	14
プリセットの変更方法	14
設置のしかた	16
在来天井への設置	16
天井に直接取り付ける場合	16
天井に埋め込む場合	21
グリッド天井への設置	28
天井に直接取り付ける場合	28
天井に埋め込む場合	33
VESA規格マウントでの設置	41
マイクロホンの取り外しかた	42
天井に直接取り付けている場合	42
天井に埋め込んで取り付けている場合	43
接続のしかた	45
システム構成例	45
ATND1061LK(1台のみ接続)	45
ATND1061LK(複数台接続)	46
ATND1061DAN(シングルケーブルモード)	47
ATND1061DAN(スプリットモード)	48
ATND1061DAN(複数台接続)	49
ATND1061DAN(シングルケーブルモード・アナログ入出力)	50
ユーロブロックコネクターの接続のしかた	50
GPI端子について	52
リセットボタンについて	53
ネットワークモードの確認	53
ネットワークリセット	53
ファクトリーリセット	54
Digital Microphone Managerについて	55

Audio-Technica LINKについて	
Dante Controllerについて(ATND1061DANのみ)	
Danteチャンネルリスト	
Input (Dante Transmitter)	
Output (Dante Receiver)	57
ウェブリモートについて	
ウェブリモートとは	
Locateとは	
推奨環境	
ウェブリモートおよびLocateが動作するOS	
ウェブリモート推奨ウェブブラウザ	
ウェブリモートの事前準備	
マイクロホンをコントロール機器と接続する	
Locateをセットアップする	59
ウェブリモートの起動	60
Locateから起動する	60
IPアドレスを直接指定して起動する	
Setting & Maintenance画面の基本操作	60
General (System Settings)	
Device Name	62
LED Settings	62
Dimmer Settings	62
Network (System Settings)	
DANTE Network Configuration(ATND1061DANのみ)	62
Dante & Audio Port Settings(ATND1061DANのみ)	63
IP Control & Web Remote Port Settings	
Allow Discovery	63
IP Control Settings	64
User Access (System Settings)	
User Login	64
Utilities (System Settings)	65
Firmware Update	65
Reset All Settings to Default	
Reboot	
Audio (Install Settings)	
DSP Mode	
Beam CHs	
Analog Input	
Auto Mix CH	
Analog Output	68

Voice Lift CH	68
Dante Tx#6 Signal(ATND1061DANのみ)	
Camera (Camera Control)	
Device	
Talk Setting	
Silent Setting	
Camera Preset	
Presets	
Presets	
プリセットを書き出す	
プリセットを読み込む	71
Logging	72
System Info	72
ヘッダー部分について	72
エラー内容表示について	74
プリセットについて	74
プリセットを保存する	74
プリセットを呼び出す	75
機能一覧	
トラブルシューティング	
外形寸法図	
ATND1061LK	
ATND1061DAN	
サーフェスマウントアダプター	
フラッシュマウントアダプター	
フラッシュマウントカバー	
タイルブリッジA	
タイルブリッジB	
タイルブリッジC	
グリッド天井用のタイルブリッジ組立図	
テクニカルデータ	
ATND1061LK	
一般仕様	
マイクロホン	
アナログオーディオ	
その他	
ATND1061DAN	
一般仕様	
マイクロホン	
アナログオーディオ	

その他	
指向特性/周波数特性	
指向特性	
周波数特性	
商標について	
系統図	

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。 事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠ 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫していま す」を意味しています。
⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意 味しています。
▲ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性 があります」を意味しています。

本製品について

本製品は一般向けではなく産業での使用を目的とした製品です。

⚠ 警告	 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
	分解や改造はしない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
	強い衝撃を与えない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
	 濡れた手で触れない 感電によるけがの恐れがあります。
	 水をかけない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
	• 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
	• 布などで覆わない 過熱による火災など事故の原因になります。
	• 幼児の手の届く場所に置かない 本製品は幼児がいる場所での使用を目的としたものではありません。
	 火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。
⚠ 注意	 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。
	 火気に近づけない 変形、故障の原因になります。
	 ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。

電池について (赤外線リモコン)

指定電池以外は使用しないでください。

指定電池	コイン形リチウム電池(CR2025)
▲ 危険	• 電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
	 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。 万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
⚠ 警告	 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
	 幼元の子の油く所に直がない 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。 窒息や内臓への障害の恐れがあります。
	• 電池は(+)(-)を逆に入れない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
	• 硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の(+)と(-)を接続しない ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
	 使い切った電池はすぐに取り出す 液漏れ 発熱 破裂の原因になります
	液漏れによる故障の原因になります。
⚠ 注意	• 落下させたり強い衝撃を与えない
	直射日光の当たる場所、高温多湿の場所/炎天下の車内/ストーブなどの熱源の近く 液漏れ 発熱 破裂 性能低下の原因になります
	発熱、破裂、発火の原因になります。
	• 変形させたりハンダ付けしない
	液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
	保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
	 指定の電池以外使用しない
	液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
	• 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
	環境保全に配慮してください。

設置上の注意

- 本製品の設置は専門の業者にご依頼ください。設置する地域の法律や条例などを考慮して、設置場所や設置方法を決めてください。
- 設置場所の強度不足、設置不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。
- 高いところで作業する場合には、安定した場所を選び踏み台などのがたつきがないことを確認したうえで、作業を 行ってください。
- 人や機材の移動時に本製品がぶつかったり、破損したりしない場所に設置してください。
- 設置する場所の強度を確認してください。本製品の質量の10倍以上の強度があることが目安です。
- 設置する天井の構造によっては、振動が伝わりノイズが発生することがあります。別途適切な制振処理を行うことを お勧めします。
- 設置する際は、必ず同梱の付属品を使用してください。
- 付属品はほかの用途や、本製品以外で使用しないでください。
- 油・煙の多い場所や溶剤・溶液が揮発している場所に設置しないでください。本製品の樹脂部分が化学反応により劣化・破損し、落下などの事故の原因となります。
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。腐食により本製品の強度が低下し、落下などの事故の原因となります。
- ねじの締め付けが弱かったり、奥まで締めこんでいない場合は、本製品が落下してけがの原因となります。
- 設置する際にケーブルを挟まないでください。
- 落下防止ワイヤー、結束バンドや安全ベルトは指定された場所に確実に取り付けてください。
- 落下防止ワイヤーを取り付ける際にはできるだけたるみが少なくなるように取り付けてください。
- 落下防止ワイヤーに一度でも落下衝撃が加わった場合、新しい落下防止ワイヤーに交換してください。



汚れたときやほこりが付いたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

• ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しないでください。変形、故障の原因になります。

同梱品の確認



同梱品の確認

- ③ サーフェスマウントアダプター
- 4 ねじ (M4×50mm) ×4
- 5 フラッシュマウントアダプター
- ⑦ フラッシュマウントカバー
- ⑦ ねじ (M4×10mm) ×12
- 8 ホールカバー
- 9 ナット×4
- 10 配線保護ブッシュ×2
- 1 タイルブリッジA×2
- 12 タイルブリッジB×2
- 13 タイルブリッジC×4
- 14 落下防止ワイヤー
- 15 結束バンド
- 16 安全ベルト
- 1 ユーロブロックコネクター×3
- 18 施工用型紙
- 19 クイックスタートガイド

各部の名称と機能

マイクロホン

ATND1061LK



1 リセットボタン

マイクロホンをリセットする場合は、先の細いピンを差し込んで押してください。

2 インジケーター

3 赤外線受光部

- 4 取外ボタン
- 5 結束バンド取付用穴

6 VESAマウント用ねじ穴

VESA規格マウントで設置する場合に使用します。

7 ネットワーク端子

LANケーブル(CAT5e以上)を接続します。ローカルエリアネットワークに接続し、アプリケーションによる外部 制御を行います。

8 Audio-Technica LINK A/B端子

Audio-Technica LINKで使用します。LANケーブル(CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを 必ず使用)を接続します。

アナログ出力端子

バランスケーブルを接続します。

- + : HOT
- : COLD
- G:GND

アナログ入力端子
 バランスケーブルを接続します。
 + : HOT
 - : COLD
 G : GND

① GPI端子

詳しくは「GPI端子について」(p.52)を確認してください。

- 1 : GPI1
- 2 : GPI2
- G : GND

12 アース用ねじ

必要に応じてアース接続を行ってください。

13 落下防止ワイヤー用ねじ

ATND1061DAN



1 リセットボタン

マイクロホンをリセットする場合は、先の細いピンを差し込んで押してください。

- 2 インジケーター
- 3 赤外線受光部
- 4 取外ボタン
- 5 結束バンド取付用穴
- 6 VESAマウント用ねじ穴

VESA規格マウントで設置する場合に使用します。

7 ネットワークA/B端子

Dante規格のネットワーク端子です。LANケーブル(CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを 必ず使用)を接続します。ローカルエリアネットワークに接続し、アプリケーションによる外部制御を行います。 ネットワークA端子をPoE対応スイッチングハブに接続すると電源がONになります。

アナログ出力端子

バランスケーブルを接続します。 + : HOT - : COLD G : GND

アナログ入力端子

バランスケーブルを接続します。

- + : HOT
- : COLD
- G:GND

10 GPI端子

詳しくは「GPI端子について」(p.52)を確認してください。

- 1 : GPI1
- 2 : GPI2
- G : GND

1 アース用ねじ

必要に応じてアース接続を行ってください。

12 落下防止ワイヤー用ねじ

インジケーター

インジケーターの色でマイクロホンの状態を確認できます。

インジケーター	状態
グリーン色点灯 ^[1]	通常時(ミュート解除時)
レッド色点灯[1]	ミュート時
シアン色点灯 ^[1]	パワーセーブ(省電力)モード
レッド色点滅(1秒間隔)	ネットワーク接続中
レッド色点滅(2秒間隔)	エラー発生

[1] 「LED Settings」でインジケーターの色を変更できます。

\square	٠	プリセット変更時のインジケーターの色については「プリセットの変更方法」(p.14)を確認してください。
	•	ネットワークモード確認時のインジケーターの色については「ネットワークモードの確認」(p.53)を確認し
		てください。

赤外線リモコン



1 赤外線送信部

2 パワーセーブモード/キャンセルボタン

パワーセーブモードのON/OFF、プリセット設定をキャンセルするときに使用します。 パワーセーブモード中は、通常動作モードに復帰する以外の制御信号を受け取りません。マイクロホンを使用しな いときはパワーセーブモードにしてください。

3 ミュート/決定ボタン

All MuteのON/OFF、プリセット設定を決定するときに使用します。

④ プリセットモードボタン

プリセット設定を変更するときに使用します。

5 電池カバー

コイン形リチウム電池(初期動作確認用)が付属しています。 ご使用の前に通電防止用のフィルムを取り外してください。 コイン形リチウム電池は指定の型番(CR2025)の電池のみ使用できます。電池を交換するときは、リモコンを裏 返して電池カバーを取り外し、電池のプラス(+)側を上にして電池カバーに入れてください。

プリセットの変更方法

赤外線リモコンでプリセットの変更ができます。 Preset 1~Preset 4に入っている設定を呼び出します。プリセットについて詳しくは、「プリセットについて」(p.74) を確認してください。

プリセットモードボタンを短押しします。

>> マイクロホンのインジケーターがシアン色に点滅します。

2 プリセットモードボタンを長押し(3秒)して指を離します。

>> マイクロホンのインジケーターがレッド色に点滅します。

各部の名称と機能

3 プリセットモードボタンを短押ししてプリセットを選択します。

- プリセットモードボタンを押すたびに、プリセットの選択が切り替わります。
- 選択しているプリセットの番号に応じてマイクロホンのインジケーターの色が変わり、点滅します。
 Preset 1:レッド色
 Preset 2:グリーン色
 Preset 3:ブルー色
 Preset 4:イエロー色
- パワーセーブモード/キャンセルボタンを押すか、数秒間操作しないでいると変更をキャンセルできます。
- 4 ミュート/決定ボタンを押して決定します。

設置のしかた

在来天井への設置

天井に直接取り付ける場合

設置完成図



設置に使用する部品





- 1 サーフェスマウントアダプター
- 2 ねじ (M4×50mm) ×4
- 3 タイルブリッジA×2
- ④ タイルブリッジB×2
- 5 落下防止ワイヤー
- 6 結束バンド
- 7 施工用型紙

設置のしかた

- 7 天井にマイクロホンを取り付けるための穴を開けます。
 - 同梱されている施工用型紙を使用して指定寸法の取り付け穴を開けてください。
 - 天井構造フレームの配置によっては設置できない場所があります。天井内部構造を確認して取り付け位置を 決めてください。



- **2** タイルブリッジAとタイルブリッジBを天井裏に配置します。
 - 天井に開けた穴とタイルブリッジA/Bのねじ穴の位置を合わせて配置してください。
 - 天井構造フレームにタイルブリッジA/Bが確実に固定され、十分な荷重を受けられるように取り付けてくだ さい。
 - 天井構造フレームとの配置によって確実な固定が難しい場合には、タイルブリッジAの取り付け穴にボルトや ナットを使用して天井構造フレームに確実に固定してください。
 タイルブリッジA取り付け穴適用ボルトサイズ:W3/8またはM10



- **3** サーフェスマウントアダプターをねじ(M4×50mm)で取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターの刻印は、マイクロホンの向きを示しています。



1 マイクロホンの向きを示す刻印

4 天井裏にケーブルを配線します。



- 5 落下防止ワイヤーを天井構造フレームに取り付けます。
 - 落下防止ワイヤーは天井構造フレームの強度がある場所にしっかりと取り付けてください。
 - ロック解除ピンをスライドさせることにより、ロックが解除されワイヤーの調節ができます。



1 ロック解除ピン

- ・ 落下防止ワイヤーを取り付ける際にはできるだけたるみが少なくなるように取り付けてください。
 - 落下防止ワイヤーのたるみが多い状態で使用すると、万一、マイクロホンが落下した際の衝撃が大 きくなり、事故やけが、またはマイクロホンが破損する恐れがあります。
 - 落下防止ワイヤーに一度でも落下衝撃が加わった場合、新しい落下防止ワイヤーに交換してください。
- **6** ケーブルと落下防止ワイヤーをサーフェスマウントアダプターの穴に通します。



7 落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤー用ねじでマイクロホンに取り付けます。



1 落下防止ワイヤー用ねじ

- **8** 配線したケーブルをマイクロホンに接続します。
 - ケーブルの接続については、「接続のしかた」(p.45)を確認してください。
- 9 結束バンドをマイクロホンとサーフェスマウントアダプターに通しながら、マイクロホンをサーフェスマウント アダプターに取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターのツメがマイクロホンに確実に引っ掛かっていることを確認してから、マイクロホンのもう一方を押し上げて取り付けてください。



1 結束バンド

2 サーフェスマウントアダプターのツメ

10 結束バンドを締めて固定します。



設置のしかた

天井に埋め込む場合

設置完成図



設置に使用する部品

1

4

7

10













00

0 0



1 サーフェスマウントアダプター

- 2 フラッシュマウントアダプター
- 3 フラッシュマウントカバー
- 4 ねじ (M4×10mm) ×12
- **5** ホールカバー
- 6 ナット×4
- ⑦ 配線保護ブッシュ×2
- 8 タイルブリッジA×2
- 9 タイルブリッジB×2
- 10 タイルブリッジC×4
- 1 落下防止ワイヤー
- 12 安全ベルト
- 13 施工用型紙
 - 7 天井にマイクロホンを取り付けるための角穴を開けます。
 - 同梱されている施工用型紙を使用して指定寸法の取り付け穴を開けてください。
 - 天井構造フレームの配置によっては設置できない場所があります。天井内部構造を確認して取り付け位置を 決めてください。
 - 設置可能な天井の厚み:最大25mm



- 2 タイルブリッジAとタイルブリッジBを天井裏に配置し、ねじ(M4×10mm)で組み立てます。 タイルブリッジCを天井構造フレームの高さに合わせて調節し、ねじ(M4×10mm)で取り付けます。
 - 天井に開けた角穴に合わせてタイルブリッジA/Bを配置して組み立ててください。
 - 天井構造フレームにタイルブリッジA/B/Cが確実に固定され、充分な荷重を受けられるように取り付けて ください。
 - 天井構造フレームとの配置によって確実な固定が難しい場合には、タイルブリッジAの取り付け穴にボルトや ナットを使用して天井構造フレームに確実に固定してください。
 タイルブリッジA取り付け穴適用ボルトサイズ:W3/8またはM10



- **3** サーフェスマウントアダプターをフラッシュマウントアダプターにねじ(M4×10mm)で取り付けます。
 - フラッシュマウントアダプターの矢印とサーフェスマウントアダプターの刻印の向きが合うように取り付け てください。



- 4 ホールカバーをナットで取り付けます。
 - 両方の穴を使用するときは、この手順をスキップして次に進んでください。



設置のしかた

- 5 配線保護ブッシュを取り付けます。
 - 配線保護ブッシュは上側から手で押し込んで取り付けてください。
 - 配線するケーブルの数が多くなるときは、ホールカバーを使わずに配線保護ブッシュを2つ取り付けてください。



6 天井裏にケーブルを配線します。



- 7 落下防止ワイヤーを天井構造フレームに取り付けます。
 - 落下防止ワイヤーは天井構造フレームの強度がある場所にしっかりと取り付けてください。
 - ロック解除ピンをスライドさせることにより、ロックが解除されワイヤーの調節ができます。



1 ロック解除ピン

- ・ 落下防止ワイヤーを取り付ける際にはできるだけたるみが少なくなるように取り付けてください。
 - 落下防止ワイヤーのたるみが多い状態で使用すると、万一、マイクロホンが落下した際の衝撃が大 きくなり、事故やけが、またはマイクロホンが破損する恐れがあります。
 - 落下防止ワイヤーに一度でも落下衝撃が加わった場合、新しい落下防止ワイヤーに交換してください。
- **8** ケーブルと落下防止ワイヤーをフラッシュマウントアダプターの配線保護ブッシュの穴に通しながら、フラッシュマウントアダプターを天井にあけた角穴にはめ込み、取り付け用ねじを締め付けて取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターの刻印は、マイクロホンの向きを示しています。
 - フラッシュマウントアダプターがしっかりと固定されるまで取り付け用ねじを締め付けてください。



取り付け用ねじ
 マイクロホンの向きを示す刻印

9

1 落下防止ワイヤー用ねじ

10 配線したケーブルをマイクロホンに接続します。

• ケーブルの接続については、「接続のしかた」(p.45)を確認してください。

落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤー用ねじでマイクロホンに取り付けます。

- 11 マイクロホンをサーフェスマウントアダプターに取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターのツメがマイクロホンに確実に引っ掛かっていることを確認してから、マイ クロホンのもう一方を押し上げて取り付けてください。



サーフェスマウントアダプターのツメ

- 12 安全ベルトをフラッシュマウントアダプターとフラッシュマウントカバーのフックに引っ掛けて取り付けます。
 - 安全ベルトを取り付ける方向に注意してください。



● 安全ベルト取り付け用フック

- 13 フラッシュマウントカバーをフラッシュマウントアダプターにはめ込んで取り付けます。
 - フラッシュマウントカバーを取り付ける際に、安全ベルトが折れたりねじれたりしないように注意してください。



グリッド天井への設置

天井に直接取り付ける場合

設置完成図



設置に使用する部品



1 マイクロホンを設置する部分の天井タイルを取り外します。



2 天井タイルにマイクロホンを取り付けるための穴を開けます。

- 同梱されている施工用型紙を使用して指定寸法の取り付け穴を開けてください。
- 取り付け穴位置は天井タイルのセンターに合わせてください。



- **3** タイルブリッジAを天井タイル裏に配置します。 タイルブリッジCを仮組みでタイルブリッジAにねじ(M4×10mm)で取り付けます。
 - 天井タイルに開けた穴とタイルブリッジAのねじ穴の位置を合わせて配置してください。



- **4** サーフェスマウントアダプターをねじ(M4×50mm)で取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターの刻印は、マイクロホンの向きを示しています。



- マイクロホンの向きを示す刻印
- 5 天井裏にケーブルを配線します。



- 6 落下防止ワイヤーを天井構造フレームに取り付けます。
 - 落下防止ワイヤーは天井構造フレームの強度がある場所にしっかりと取り付けてください。
 - ロック解除ピンをスライドさせることにより、ロックが解除されワイヤーの調節ができます。



1 ロック解除ピン



- 落下防止ワイヤーに一度でも落下衝撃が加わった場合、新しい落下防止ワイヤーに交換してください。
- 7 ケーブルと落下防止ワイヤーをサーフェスマウントアダプターの穴に通しながら、天井タイルを元通りに天井に 取り付けます。



- 8 仮組みしたタイルブリッジCを天井構造フレームの高さに合わせて調整し、ねじ(M4×10mm)を締め付けて 固定します。
 - 天井構造フレームにタイルブリッジA/Cが確実に固定され、十分な荷重を受けられるように取り付けてくだ さい。
 - 天井構造フレームとの配置によって確実な固定が難しい場合には、タイルブリッジAの取り付け穴にボルトや ナットを使用して天井構造フレームに確実に固定してください。
 タイルブリッジA取り付け穴適用ボルトサイズ:W3/8またはM10



9 落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤー用ねじでマイクロホンに取り付けます。



- 1 落下防止ワイヤー用ねじ
- 10 配線したケーブルをマイクロホンに接続します。
 - ケーブルの接続については、「接続のしかた」(p.45)を確認してください。
- **11** 結束バンドをマイクロホンとサーフェスマウントアダプターに通しながら、マイクロホンをサーフェスマウント アダプターに取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターのツメがマイクロホンに確実に引っ掛かっていることを確認してから、マイクロホンのもう一方を押し上げて取り付けてください。



1 結束バンド

2 サーフェスマウントアダプターのツメ

12 結束バンドを締めて固定します。



天井に埋め込む場合

設置完成図



設置に使用する部品







サーフェスマウントアダプター

- 2 フラッシュマウントアダプター
- 3 フラッシュマウントカバー
- ④ ねじ (M4×10mm) ×12
- **5** ホールカバー
- 6 ナット×4
- ⑦ 配線保護ブッシュ×2
- 8 タイルブリッジA×2
- 9 タイルブリッジBx2
- 10 タイルブリッジC×4
- 1 落下防止ワイヤー
- 12 安全ベルト



1 マイクロホンを設置する部分の天井タイルを取り外します。



2 天井にマイクロホンを取り付けるための角穴を開けます。

- 同梱されている施工用型紙を使用して指定寸法の取り付け穴を開けてください。
- 取り付け穴位置は天井タイルのセンターに合わせてください。
- 設置可能な天井タイルの厚み:最大25mm



- **3** タイルブリッジAとタイルブリッジBを天井タイル裏に配置し、ねじ(M4×10mm)で取り付けます。 タイルブリッジCを仮組みでタイルブリッジAにねじ(M4×10mm)で取り付けます。
 - 天井タイルに開けた角穴に合わせてタイルブリッジA/Bを配置して組み立ててください。


- **4** サーフェスマウントアダプターをフラッシュマウントアダプターにねじ(M4×10mm)で取り付けます。
 - フラッシュマウントアダプターの矢印とサーフェスマウントアダプターの刻印の向きが合うように取り付け てください。



- **5** ホールカバーをナットで取り付けます。
 - 両方の穴を使用するときは、この手順をスキップして次に進んでください。



設置のしかた

- 6 配線保護ブッシュを取り付けます。
 - 配線保護ブッシュは上側から手で押し込んで取り付けてください。
 - 配線するケーブルの数が多くなるときは、ホールカバーを使わずに配線保護ブッシュを2個取り付けてください。



- 7 フラッシュマウントアダプターを天井タイルに開けた角穴にはめ込み、取り付け用ねじを締め付けて取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターの刻印は、マイクロホンの向きを示しています。
 - フラッシュマウントアダプターがしっかりと固定されるまで取り付け用ねじを締め付けてください。



1 取り付け用ねじ

- 2 マイクロホンの向きを示す刻印
- 8 天井裏にケーブルを配線します。



- 9 落下防止ワイヤーを天井構造フレームに取り付けます。
 - 落下防止ワイヤーは天井構造フレームの強度がある場所にしっかりと取り付けてください。
 - ロック解除ピンをスライドさせることにより、ロックが解除されワイヤーの調節ができます。



1 ロック解除ピン

- ・ 落下防止ワイヤーを取り付ける際にはできるだけたるみが少なくなるように取り付けてください。
 - 落下防止ワイヤーのたるみが多い状態で使用すると、万一、マイクロホンが落下した際の衝撃が大 きくなり、事故やけが、またはマイクロホンが破損する恐れがあります。
 - 落下防止ワイヤーに一度でも落下衝撃が加わった場合、新しい落下防止ワイヤーに交換してください。
- 10 ケーブルと落下防止ワイヤーをフラッシュマウントアダプターの配線保護ブッシュの穴に通しながら、天井タイルを元通りに天井に取り付けます。



- **11** 仮組みしたタイルブリッジCを天井構造フレームの高さに合わせて調整し、ねじ(M4×10mm)を締め付けて 固定します。
 - 天井構造フレームにタイルブリッジA/B/Cが確実に固定され、十分な荷重を受けられるように取り付けて ください。
 - 天井構造フレームとの配置によって確実な固定が難しい場合には、タイルブリッジAの取り付け穴にボルトや ナットを使用して天井構造フレームに確実に固定してください。 タイルブリッジA取り付け穴適用ボルトサイズ:W3/8またはM10



12 落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤー用ねじでマイクロホンに取り付けます。



● 落下防止ワイヤー用ねじ

- 13 配線したケーブルをマイクロホンに接続します。
 - ケーブルの接続については、「接続のしかた」(p.45)を確認してください。
- 14 マイクロホンをサーフェスマウントアダプターに取り付けます。
 - サーフェスマウントアダプターのツメがマイクロホンに確実に引っ掛かっていることを確認してから、マイクロホンのもう一方を押し上げて取り付けてください。



1 サーフェスマウントアダプターのツメ

- 15 安全ベルトをフラッシュマウントアダプターとフラッシュマウントカバーのフックに引っ掛けて取り付けます。
 - 安全ベルトを取り付ける方向に注意してください。



● 安全ベルト取り付け用フック

- 16 フラッシュマウントカバーをフラッシュマウントアダプターにはめ込んで取り付けます。
 - フラッシュマウントカバーを取り付ける際に、安全ベルトが折れたりねじれたりしないように注意してくだ さい。



VESA規格マウントでの設置

市販のVESA規格マウントを使用して設置できます。 VESA規格寸法:75mmピッチ 取り付けねじ穴:M4(深さ8mm)

- 本製品の取り付けねじ穴の深さ(8mm)と、VESA規格マウントのねじ取り付け部の厚みの合計値を超える長さの ねじを使用しないでください。ご使用のVESA規格マウントの取扱説明書も併せて確認してください。
- ねじが緩まないように固定してください。 ねじ締め込みトルク:1.2N・m以下

• 製品落下防止として落下防止ワイヤーをマイクロホンに固定し、VESA規格マウント側の構造の強度がある場所に取り付けてください。



VESAマウント用ねじ穴
 落下防止ワイヤー用ねじ

マイクロホンの取り外しかた

天井に直接取り付けている場合

マイクロホンとサーフェスマウントアダプターを固定している結束バンドを切り取ります。



2 マイクロホンの取外ボタンを押し込みながら、サーフェスマウントアダプターから取り外します。



天井に埋め込んで取り付けている場合

- 1 フラッシュマウントカバー側面の凹部(1辺2箇所)とフラッシュマウントアダプターの間にマイナスドライ バーを差し込み、フラッシュマウントカバーを浮かせるようにして取り外します。
 - フラッシュマウントカバーのツメがフラッシュマウントアダプターに引っ掛かっています。フラッシュマウントカバーの凹部にマイナスドライバーを奥まで差し込み、ツメを内側へ押しながらフラッシュマウントカバーを下方向に浮かせてください。
 - ツメを1箇所取り外してフラッシュマウントカバーを浮かせると取り外しやすくなります。
 - フラッシュマウントカバーを取り外す際に安全ベルトを一緒に取り外してください。



1 マイナスドライバー

2 マイクロホンの取外ボタンを押し込みながら、サーフェスマウントアダプターから取り外します。

設置のしかた



接続のしかた

システム構成例

ATND1061LK (1台のみ接続)



ATLK-EXT25を使用する際は、ACアダプター(当社別売)または、PoE対応スイッチングハブが必要です。

ATND1061LK(複数台接続)



- ATLK-EXT25を使用する際は、ACアダプター(当社別売)または、PoE対応スイッチングハブが必要です。
 - ATND1061LKの2台目以降の設置環境によって、ATLK-EXT25からの接続可能な台数が異なります。事前 に当社提供のシミュレーターで確認するか、プロフェッショナルSS 課までお問い合わせください。

ATND1061DAN(シングルケーブルモード)

ATND1061DAN А ATND1061DAN 背面 据 NETWORK Dante スピーカー В A PoE **∗**[]))) 1 **→**(())) パワーアンプ PoE対応スイッチングハブ 0000 00000 ЙО Dante対応 DSP 他拠点からの音声 インターネット <u>.</u> 88888 ルーター パソコン ビデオ会議システム

ATND1061DAN (スプリットモード)



ATND1061DAN(複数台接続)



 複数台接続時のオートミックスの設定について詳しくは、取扱説明書-Digital Microphone Manager編-を 確認してください。

ATND1061DAN(シングルケーブルモード・アナログ入出力)



OUTPUT:ビデオ会議システムのアナログ入力へ接続(他拠点へ送る)
 INPUT:ビデオ会議システムのアナログ出力へ接続(他拠点の音声)

ユーロブロックコネクターの接続のしかた

- **ケ**ーブルを図のようにむき出して配線します。
 - より線ははんだ処理しないでください。





2 マイナスドライバーで、ねじを緩めます。



3 ピンアサインを確認し、それぞれケーブルを接続します。



端子	ピンアサイン
INPUT	A (+ : HOT) B (- : COLD) C (G : GND)
OUTPUT	A (+ : HOT) B (- : COLD) C (G : GND)
GPI	A (1 : GPI1) B (2 : GPI2) C (G : GND)

4 ねじを締め、結束バンドでケーブルをまとめます。

• 結束バンドは市販品をご使用ください。



5 ユーロブロックコネクターをマイクロホンに接続します。



GPI端子について

Digital Microphone Managerの「GPI Setting」でGPI端子の機能を選択できます。 GPI端子に割り当てた機能はGPI端子とGND端子をクローズすることで実行されます。 0.5秒以上クローズしてください。

項目名	説明
Mute	ミュートを実行します(オープン→クローズ)。 ミュートを解除します(クローズ→オープン)。
Power Save Mode	パワーセーブモードをON/OFFします(オープン→クローズ)。
Reboot	再起動を実行します(オープン→クローズ)。

リセットボタンについて

マイクロホンをリセットするには、リセットボタンを先の細いピンを差し込んで押してください。

リセット動作は通常動作モード時のみ可能です。
 パワーセーブモード時にリセットボタンを押すと通常動作モードに復帰します。



インジケーター
 リセットボタン

ネットワークモードの確認

1 リセットボタンを短押しします。

インジケーター	IP Config Modeの設定
グリーン色点滅	Auto
オレンジ色点滅	Static

ネットワークリセット

次のネットワーク設定がリセットされます。

- IP Control & Web Remote Port Settings
- Allow Discovery
- IP Control Settings
 - 1 リセットボタンを長押し(約3秒)します。インジケーターがレッド色/オレンジ色で交互に点灯したら、リセットボタンから手を離します。
 - 2 インジケーターが交互に点灯している間にリセットボタンを短押しします。
 - インジケーターが交互に点灯してから5秒間操作がないと通常動作モードに戻ります。

» ネットワークリセットが実行されます。

リセットボタンについて

ファクトリーリセット

すべての設定が工場出荷状態にリセットされます。

- 「Dante Network Configuration」の設定はリセットされません。
 - 1 リセットボタンを長押し(約8秒)します。インジケーターがグリーン色/オレンジ色で交互に点灯したら、リセットボタンから手を離します。
 - 2 インジケーターが交互に点灯している間にリセットボタンを短押しします。
 - インジケーターが交互に点灯してから5秒間操作がないと通常動作モードに戻ります。

>> ファクトリーリセットが実行されます。ファクトリーリセット後は自動的に再起動します。

リセット中はマイクロホンに接続しているケーブルを抜かないでください。

Digital Microphone Managerについて

Digital Microphone Managerはオーディオテクニカのデジタルマイクロホン(対応モデル)の運用をサポートするアプ リケーションです。プロジェクトの作成やマイクロホン設定、オーディオ設定だけでなく、実際にマイクロホンを設置 する部屋のレイアウトを想定した収音範囲の設定が可能です。オンライン環境では、リアルタイム編集や話者位置の表 示ができますので、施工現場での詳細設定の役に立ちます。

- 本製品をご使用になるには、Digital Microphone Managerが必要です。
- 当社ホームページ(https://www.audio-technica.com/)からご使用の国または地域を選択し、各サイトよりダウン ロードしてください。
- Digital Microphone Managerをインストールしたあと、起動して本製品の設定を行ってください。
- 設定について詳しくは取扱説明書 -Digital Microphone Manager編-を確認してください。

Audio-Technica LINKについて

ATND1061LKは機器間の音声信号の伝送と電源供給に、独自フォーマット「Audio-Technica LINK」を採用しています。

- デイジーチェーン接続でマルチチャンネル伝送が可能です。
- 低レイテンシーの高速信号伝送により、安定した制御とマルチチャンネルの非圧縮音声信号の伝達が可能です。
- ATND1061LKからのマルチチャンネル音声信号をミキサーの入力チャンネルへ個別にアサインが可能です。
- イーサネット規格に準拠し、汎用的なLANケーブルによる接続が可能なため、高い施工性を実現しています。
- LANケーブルはCat5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを必ず使用してください。
- () ATUC-50シリーズ、ATUC-IRシリーズとは接続できません。

Dante Controllerについて (ATND1061DANのみ)

- ATND1061DANはDanteネットワークオーディオに対応しています。
 Dante Controller (Audinate提供のアプリケーション)を使用してDante機器への入出力設定ができます。Dante ControllerについてはAudinateホームページ (https://www.audinate.com)を確認してください。
- ATND1061DANはAES67モードでの動作をサポートしています。AES67で使用する場合は、Dante Controllerで AES67モードを有効にし、マイクロホンを再起動してください。詳しくは、Audinate社にお問い合わせください。

Danteチャンネルリスト

Input (Dante Transmitter)

Dante Controllerでの表示名	説明
AEC Ref In	AECリファレンス信号として使用するデジタル音声信号を入力します。
Sum In	複数台接続時のオートミックスに使用します。主となるマイクロホン (Primary) からの制御信号を入力します。
Chain In	複数台接続時のオートミックスに使用します。前段のマイクロホンからの 制御信号を入力します。
Mix In	複数台接続時のオートミックスに使用します。主となるマイクロホン (Primary)はここに他のマイクロホン(Follower)からのオートミック ス信号を入力します。

Output (Dante Receiver)

Dante Controllerでの表示名	説明
CH1	カバレッジゾーンの音声出力
CH2	プライオリティゾーンの音声出力 # 1
СНЗ	プライオリティゾーンの音声出力 # 2
CH4	プライオリティゾーンの音声出力#3
CH5	プライオリティゾーンの音声出力 # 4
CH6/AutoMix	プライオリティゾーンの音声出力 # 5 またはオートミックス信号出力(選 択可能)
AEC Ref/Voice Lift Out	オートミックスチャンネルのAECに使用するAECリファレンス信号を出力 します。またはボイスリフトを出力します。
Sum Out	複数台接続時のオートミックスに使用します。次のマイクロホンへ制御信 号を出力します。

ウェブリモートとは

ウェブリモートとは、マイクロホンをコントロールするウェブアプリケーションです。WindowsパソコンまたはMac (以下コントロール機器)から、次の項目をリモートコントロールできます。

- マイクロホンの状態確認
- マイクロホンの各種設定変更

Locateとは

Locateは、ウェブリモート用ランチャーアプリケーションです。コントロール機器を接続したあと、Locateを起動し ます。Locateを使用すると、設置されているマイクロホンのIPアドレスを入力することなく簡単にウェブリモートにア クセスできます。

• マイクロホンのIPアドレスがわかる場合は、Locateを使用しないでウェブリモートを起動することもできます。

推奨環境

ウェブリモートおよびLocateが動作するOS

- Microsoft Windows 10以降
- macOS Big Sur以降

ウェブリモート推奨ウェブブラウザ

- Google Chrome (Windows)
- Mozilla Firefox (Windows)
- Safari (macOS)



ウェブリモートの最小画面サイズは1024×768ピクセルです。コントロール機器のディスプレイモニターは、ウェブリモート画面をウェブブラウザで表示できるサイズのモニターをご使用ください。

ウェブリモートの事前準備

マイクロホンをコントロール機器と接続する

- 1 コントロール機器がマイクロホンと同じネットワークになるように有線または無線で接続します。
- 2 コントロール機器のネットワーク設定を行い、ネットワークに接続します。
- 工場出荷時、マイクロホンの「IP Config Mode」は「Auto」に設定されています。IPアドレスを固定して 接続する場合は「IP Config Mode」を「Static」に設定してください。

Locateをセットアップする

- 1 コントロール機器にLocateのインストーラー/アプリケーションをダウンロードします。
 - 当社ホームページ(https://www.audio-technica.com/)からご使用の国または地域を選択し、各サイトよりダウンロードしてください。
- 2 ダウンロードしたsetup.exeをダブルクリックします。

>> セットアップウィザードが表示されます。

3 画面上に表示された指示に従い、Locateをインストールします。

>> インストールが完了すると、デスクトップにLocateのアイコンが表示されます。

- **4** マイクロホンがコントロール機器と同じネットワーク上に接続されていることを確認したあと、Locateのアイ コンをダブルクリックします。
 - >> Locateが起動します。ネットワークに接続されているマイクロホンが自動検出されます。
- **5** ウェブリモートコントロールを行いたいマイクロホンを選び、「Open」をクリックします。

» Setting & Maintenance画面が表示されます。

 Locateの「Identify」は使用できません。接続しているマイクロホンを確認するには、Digital Microphone Managerを使用してください。

ウェブリモートの起動

Locateから起動する

- 1 コントロール機器にインストールしたLocateを起動します。
- 2 ウェブリモートを起動させたいマイクロホンをリストから選択します。

» ウェブリモートが起動し、Setting & Maintenance画面が表示されます。

IPアドレスを直接指定して起動する

マイクロホンのIPアドレスがわかる場合は、直接IPアドレスを指定してウェブリモートを起動することができます。

- コントロール機器のウェブブラウザを起動します。
- 2 ウェブリモートを起動させたいマイクロホンのIPアドレスを入力します。

» ウェブリモートが起動し、Setting & Maintenance画面が表示されます。

Setting & Maintenance画面の基本操作

システム全体に関わる詳細設定や、メンテナンス時や障害発生時に使用するユーティリティが準備されています。

1 「>」をクリックして設定メニューを開き、設定項目を選択します。

• ATNO 1061	aintenance	# ~ A	Preset 1
✓ System Settings	Device Name		
General	Device Name		
 Network Utilities 	Device ID		
> Install Settings	Device Color		
> Presets	LED Settings		
> Logging	Unmute Color		
> System Info	Mute Color		
	Dimmer Settings		
		••	
			Apply

2 テキスト入力の設定は、設定欄をクリックして入力します。



3 プルダウン選択の設定は、設定欄の「▼」をクリックしてプルダウンから選択します。



- 4 スイッチ切り替えの設定は、スイッチをクリックします。
 - クリックするたびにON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。

- 5 数値の設定は、設定欄の「∨」または「∧」をクリックします。
 - クリックするたびにカウントダウン/アップします。



6 「Apply」をクリックします。

• ATND1061		Preset •
Setting & Ma	aintenance	
✓ System Settings	Device Name	
• General		
 Network Utilities 		
> Install Settings		
> Presets	LED Settings	
> Logging		
> System Info		
	Dimmer Settings	
		••
		Apply

>> 設定が適用されます。

General (System Settings)

Device Name

項目名	説明
Device Name	マイクロホンの名前を設定します。
Device ID	マイクロホンのIDを設定します。
Device Color	Digital Microphone Managerでのマイクロホンの表示色を設定します。

LED Settings

項目名	説明
Unmute Color	ミュート解除時のマイクロホンのインジケーター色を設定します。
Mute Color	ミュート時のマイクロホンのインジケーター色を設定します。
Power Save Mode Color	パワーセーブモード時のマイクロホンのインジケーター色を設定します。

Dimmer Settings

項目名	説明
Enabled	マイクロホンのインジケーターの明るさを設定します。 「ON」(青色)に設定するとマイクロホンのインジケーターが暗くなり ます。

Network (System Settings)

DANTE Network Configuration (ATND1061DANのみ)

項目名	説明
Mode	「Single cable」に設定すると、 1 本のケーブルで出力します。 「Split」 に設定すると、IPコントロールを別のケーブルで出力します。複数のケー ブルで接続しますので、接続を確認してください。
Latency	Danteポートのレイテンシーを設定します。

Dante & Audio Port Settings (ATND1061DANのみ)

項目名	説明
IP Config Mode	IPアドレスの取得方法を設定します。 「Auto」に設定すると、DHCPサーバーなどが自動でIPアドレスを割り当 てます。 「Static」に設定すると、固定IPアドレスを指定します。
IP Address ^[1]	IPアドレスを設定します。
Subnet Mask ^[1]	サブネット・マスクを設定します。
Gateway Address ^[1]	ゲートウェイ・アドレスを設定します。

[1] 「IP Config Mode」を「Static」に設定した場合に設定できます。

IP Control & Web Remote Port Settings

項目名	説明
IP Config Mode	IPアドレスの取得方法を設定します。 「Auto」に設定すると、DHCPサーバーなどが自動でIPアドレスを割り当 てます。 「Static」に設定すると、固定IPアドレスを指定します。
IP Address ^[1]	IPアドレスを設定します。
Subnet Mask ^[1]	サブネット・マスクを設定します。
Gateway Address ^[1]	ゲートウェイ・アドレスを設定します。

[1] 「IP Config Mode」を「Static」に設定した場合に設定できます。

Allow Discovery

項目名	説明
Enabled	同じネットワーク内にあるマイクロホンの自動検出を設定します。 「ON」(青色)に設定すると自動検出可能になります。

IP Control Settings

項目名	説明
Port Number	IPコントロールポートの番号を表示します。
Notification	IPコントロール時にマイクロホンからの通知を受け取るかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると通知を受け取ります。
Audio Level Notification ^[1]	IPコントロール時にマイクロホンから音声レベルの通知を受け取るかを設 定します。「ON」(青色)に設定すると、通知を受け取ります。
Camera Control Notification ^[1]	IPコントロール時にマイクロホンから設定したカメラエリアに音声が入っ たかどうかの通知を受け取るかを設定します。「ON」(青色)に設定す ると、通知を受け取ります。
Multicast Address ^[1]	マルチキャストのアドレスを設定します。
Multicast Port Number ^[1]	マルチキャストのポート番号を設定します。

[1]「Notification」を「ON」に設定した場合に設定できます。

User Access (System Settings)

User Login

本機能を有効にすると、ウェブリモート起動時にログイン画面を表示するようにマイクロホンの設定を変更できます。 IDとパスワードでログインすることができます。ログアウトは画面右上のアイコンから行ってください。

項目名	説明
Enabled	ログイン機能を有効にします。「ON」(青色)に設定するとUser Accessが有効になっているマイクロホンに接続する際に、IDとパスワー ドが必要なログイン画面が表示されます。
User ID ^[1]	ログインIDを設定します。
Password ^[1]	ログインする際のパスワードを設定します。

[1]「Enabled」を「ON」(青色)に設定した場合に設定できます。

パスワードはマイクロホン1台につき、1つのID・パスワードで設定できます。

- ログアウトをしなくても、ブラウザを閉じることでログアウトできます。ただし、再度ブラウザを立ち上 げたとき、ログイン画面が再度表示されずにログインできてしまう場合があります。使用終了時は、ログ アウトしてからブラウザを閉じることをお勧めします。
- 「User ID」、「Password」を忘れた場合は、マイクロホンをファクトリーリセットしてください。

Utilities (System Settings)

Firmware Update

マイクロホンのファームウェアをアップデートします。

- 1 画面に表示されている「Serial No.」(シリアル番号)、「Device Name」(マイクロホン名称)、 「Firmware Ver.」(ファームウェアバージョン)で、マイクロホンがアップデート対象であるかを確認します。
- 2 「Browse」をクリックします。

ATN01061			Ø 4
Setting & N	laintenance		
✓ System Settings	Firmware Update		
	Seefal No. Device Name	Firmanan Vec	
Network	00000000 ATND1061		
Install Settings	Browse	Update	
Presets	Reset All Settings to Default		
Logging			

- **3** ファイル選択画面からバージョンアップファイルを選択して開きます。
- 4 「Update」をクリックします。

ATND1061						8 0 A	Preset 1
Setting & Ma	aintenance						
✓ System Settings	Firmware Upd	late					
* General	Serial No.	Device Name	 rmware Ver.				
 Network 	0000000	ATND1061	10				
 Utilitios 	Browse	ATNO1051DANEW BIN	Update	1			
> Install Settings				_			
	Reset All Setti	ings to Default					
> Logging							Reset

>>> アップデートが開始されます。アップデートが完了すると、完了画面が表示され、マイクロホンが自動的に再 起動します。

- 5 バージョンの確認をします。
 - 「System Info」の項目で正しくアップデートされていることを確認してください。

6 マイクロホンをリセットし、工場出荷時の設定に戻します。

- **7** ご使用のウェブブラウザのキャッシュを消去します。
- ファームウェアアップデート後にマイクロホンをリセットしなかった場合、VISCA over IPでカメラ連動機 能を使用しているとポート番号が「80」になってしまう場合があります。その場合は、ポート番号を設定 し直してください。

Reset All Settings to Default

マイクロホンの全設定を工場出荷時の設定に戻します。

- ファームウェアは現在のバージョンのままです。
 - 「Reset」をクリックします。

ATND1061			Ø +0 A Prest →
Setting & Ma	intenance		
✓ System Settings	Firmware Update		
 General 	Social No. Doulce Name	Firman We.	
* Network	00000000 ATND1061		
• utilias	Browse	Update	
Install Settings			
> Presets	Reset All Settings to Default		
> Logging			Reset
> System Info			

2 確認画面を確認し、「Yes」をクリックします。

>> 初期化が完了すると完了画面が表示されます。

Reboot

マイクロホンを再起動します。

- 1 「Reboot」をクリックします。
- 2 確認画面を確認し、「Yes」をクリックします。

Audio (Install Settings)

DSP Mode

項目名	説明
DSP Mode	オーディオ設定のDSPモードを設定します。
Voice Lift Output Select	ボイスリフト機能で収音する範囲を設定します。

Beam CHs

CH1~CH6のオーディオ設定ができます。

項目名	説明
Input Gain	音声入力の入力ゲインを設定します。
Low Cut	入力音声の低域をカットするかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると入力音声の低域をカットします。
4Band EQ	音声入力に4バンドEQを適用するかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると適用します。
Level	音声入力レベルを設定します。
Mute	ミュート/ミュート解除を設定します。 「ON」(青色)に設定するとミュート状態になります。
Gain Share	オートミックスを有効にするかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると有効になります。

Analog Input

項目名	説明
Input Type	Analog Inputチャンネルの入力タイプを設定します。
Phantom ^[1]	ファントム電源 を有効にするかを設定します。「ON」(青色)に設定す ると有効になります。
4Band EQ	音声入力に4バンドEQを適用するかを設定します。「ON」(青色)に設 定すると適用します。
Level	音声入力レベルを設定します。

[1] 「Input Type」を「Mic」に設定した場合に設定できます。

Auto Mix CH

項目名	説明
AEC	アコースティックエコーキャンセラーを有効にするかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると有効になります。
AEC Reference	リファレンス信号を設定します。通常は他拠点にある端末からの音声を選 択します。
NC	ノイズキャンセルを有効にするかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると有効になります。
AGC	オートゲインコントロールを有効にするかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると有効になります。
Level	音声出力レベルを設定します。

Analog Output

項目名	説明
Unity	ユニティレベルを設定します。
Level	音声出力レベルを設定します。

Voice Lift CH

「DSP Mode」を「Voice Lift Mode」に設定した場合のみ表示されます。

項目名	説明	
Processing Level	ボイスリフト機能の抑制の強さを設定します。	
Input Gain	音声入力の入力ゲインを設定します。	
4Band EQ	音声入力に4バンドEQを適用するかを設定します。 「ON」(青色)に設定すると適用します。	
Level	音声入力レベルを設定します。	

Dante Tx#6 Signal (ATND1061DANのみ)

項目名	説明
Dante Tx#6 Signal	デジタルアウトプットの6番目のアサインを変更できます。「CH6」に設 定すると、後段の機器でミックスします。「Automix」に設定すると、マ イクロホンのミックス機能を使用します。

Camera (Camera Control)

Device

項目名	説明		
Enabled	カメラ連動機能を設定します。「ON」(青色)に設定すると、カメラ連 動機能が使用可能になります。		
Protocol ^[1]	使用するプロトコルを選択します。		
IP Address ^[1]	使用するカメラのIPアドレスを入力します。		
Port Number ^[1]	使用するプロトコルによって次のとおり設定します。 VISCA over IP:52381 ^[2] Panasonic:カメラで設定したポート番号		

[1] 「Enable」を「ON(青色)」に設定した場合に設定できます。

[2] VISCA over IPはソニー株式会社が開発した通信規格で、IPネットワーク上でカメラの遠隔制御を行うものです。通信規格の仕様上、指定通信ポート は「52381」を使用します。VISCA over IPでカメラ連動機能を使用する場合は、設定項目内の「Port Number」を「52381」に設定してください。

Talk Setting

項目名	説明
Talk To Recall Preset	話者が話し始めてから、何秒でカメラのプリセットが呼び出されるか(カ メラが動くか)を設定します。 この機能は、短い発言ですぐにカメラが動かないようにする場合などのと きに設定します。

Silent Setting

項目名	説明
Enabled	無音時間を設定します。「ON」(青色)に設定すると無音時間設定が使 用可能になります。
Time To Go Back Home ^[1]	無音状態が何秒続いたら、カメラのプリセットを呼び出すか(カメラがど の位置に戻るか)を設定します。この機能は、無音状態では特定の人物に フォーカスするのではなく、全体を映すようにするなどする場合に設定し ます。
Position ^[1]	無音状態時にどこにカメラを戻すかを設定します。

[1] 「Enable」を「ON(青色)」に設定した場合に設定できます。

Camera Preset

カメラエリアグループとカメラ側の呼び出すプリセットを紐づけする設定を行います。カメラ側のプリセット番号を確認して、カメラ側のどのプリセットを呼び出すかを設定してください。

Presets

Presets

項目名	説明	
Preset Name	プリセット名が表示されます。	
Boot Up Preset	マイクロホンを起動したときに呼び出すプリセットを指定します。	

プリセットを書き出す

プリセットをファイルに書き出します。

ファイルに書き出すプリセットのボタンをクリックします。

• ATND1061					& ≪ ▲	Preset +
Setting & Maintenance Setting &						
> System Settings	Presets					
> Install Settings		Preset Name	Boot Up Preset			
✓ Presets	1 🐵	Preset 1				
Presets	2 0	Preset 2				
> Logging	3 0	Preset 3				
> System Info	4 0	Preset 4				
	5 0	Preset 5				
	6 0	Preset 6				
			Export			
	Browse		Import			

2 「Export」をクリックします。

> System Setting & IV	Presets	
> Install Settings		
 Presets 		
Presets	2 O Preset 2	
> Logging	3 O Preset 3	
> System Info		
	5 O Preset S	
	6 O Preset 6	
	Browse	Export

3 保存先・ファイル名を指定して書き出します。

プリセットを読み込む

書き出したプリセットファイルを読み込みます。

1 読み込み先のプリセットのボタンをクリックします。



2 「Browse」をクリックします。

• ATND1061			Preset
Setting & N	laintenance		
> System Settings	Presets		
> Install Settings	Preset P	larre Boot Up Preset	
✓ Presets			
• Presets	2 O Preset		
> Logging	3 O Preset		
> System Info			
	5 O Preset		
	6 O Preset		
		E	xport
	Browse	Ir	nport

- 3 ファイル選択画面からプリセットファイルを選択して開きます。
- 4 「Import」をクリックします。
| • ATND1061 | | | | 8 10 A Preset |
|--------------------|------------|-------------|--------|---------------|
| Setting & Ma | aintenance | | | |
| > System Settings | Presets | | | |
| > Install Settings | | Preset Name | | |
| ✓ Presets | | | | |
| Presets | | | | |
| > Logging | | | | |
| > System Info | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | Export | 3 |
| | Browse | | Import | |
| | | | | 4 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

>> プリセットが読み込まれます。

Logging

ログメッセージに関する設定とログファイルのダウンロードをします。

項目名	説明
Enabled	ログメッセージを保存するか設定します。 「ON」(青色)に設定するとログメッセージを保存します。
Destination ^[1]	ログメッセージを内部メモリに書き出すか、またはSyslogサーバーに転送 するかを設定します。
Log File	「Download」をクリックすると、内部メモリに記録されたログファイル をダウンロードできます。

[1] 「Enabled」をONに設定した場合に設定できます。

Syslogとは、IPネットワーク上でログメッセージを転送するための標準規格です。コンピューターシステムの管理やセキュリティ監視を目的として使用されています。

System Info

各種ネットワーク設定、マイクロホンのシリアル番号やファームウェアバージョンなど、システムに関する情報を表示 します。「Export」をクリックすると、システム情報をテキストファイルに書き出すことができます。

ヘッダー部分について

画面上部のヘッダー部分にステータスやプリセット名が表示されます。

 System Settings Unvalue System Settings Devi Secting & Walne System Settings Presets LED Logging Unm System Info ATND1061 3 7 マイクロホン マイクロホン 2 マイクロホン ビスクロホン ビスクロホン 	enance evice Name vice ID vice Color D Settings mute Color ne Color mmer Settings abled 5 D Settings	ATND 1061		Prese				Δρρίγ
 i ceneral i ceneral i vertwork i install Settings Presets LED Logging System Info Muto Prove Comparison Muto Prove Comparison Comparison	vice Name vice ID vice Color D Settings mute Color are Color mmer Settings abled	ATND1661		Prese				Apply
 Network Unititie Install Settings Presets Logging Unititie Cogging Unititie Presets LED Unititie Presets Image: Construct of the set of t	vice ID vice Color D Settings mute Color me Color wer Save Mode Color mmer Settings abled			Prese	6			Αρρίγ
> Install Settings > Presets > Logging > System Info ArtND1061 1 2 ・ ATND1061 1 マイクロホン マイクロホン 2 マイクロホン ビ島に設定さ	vice Color D Settings mute Color me Color wer Save Mode Color mmer Settings abled クリカラー			Prese				Apply
 > Presets LED Logging System Info Unant Power Power<!--</td--><td>D Settings mute Color re Color mmer Settings abled 4 5 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td></td><td></td><th>Prese</th><th>6</th><td></td><td></td><td>Apply</td>	D Settings mute Color re Color mmer Settings abled 4 5 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			Prese	6			Apply
 2 System Info 2 System Info 4 TND1061 3 C 3 C 4 TND1061 3 C 4 TND1061 3 C 4 TND1061 4 TND1061 4 TND1061 	mute Color Re Color mmer Settings abled クリンクラー ノを複数台封			Prese	6			Арріу
 1 2 ATND1061 3 (ne color wer Save Mode Color mmer Settings abled う リカラー ノを複数台			Prese	6			Apply
 1 2 ATND1061 3 (1) マイクロホン マイクロホン 2 マイクロホン 任意に設定さ 	mmer Settings abled	•-		Prese	6			Арріу
1 2 ATND1061 3 1 マイクロホン マイクロホン 2 マイクロホン 任意に設定さ	mmer Settings abled シレカラー ノを複数台打			Prese	6			Аррју
	4 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			Prese	6			Apply
 2 ATND1061 3 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	 4 5 0 0			Prese	6			Арріу
 2 ATND1061 3 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	 4 5 0 0			Prese	6			
 2 ATND1061 3 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	4 5 <i>v</i> <i>v</i> <i>b</i> <i>v</i> <i>b</i> <i>v</i> <i>b</i> <i>c</i> 複数台 <i>b</i>			Prese	6	•		
 ATND1061 3 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	 4 5 0 0			Prese	6	•		
 ATND1061 3 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	 4 5 0 0			Prese	6	•		
 マイクロホン マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	 4 5 0 0			Prese	6	•		
 マイクロホン マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	4 5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			Prese	6			
 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	レカラー レを複数台封			Prese		•		
 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	レ レカラー レを複数台			Prese	J			
 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	ノカラー ノを複数台打				et			
 マイクロホン マイクロホン マイクロホン 任意に設定さ 	ッカラー ンを複数台排							
マイクロホン 2 マイクロホン 任意に設定さ	ノを複数台打							
 マイクロホン 任意に設定さ 		操作する	る際の目	印です。	0			
任意に設定さ	ノ名							
	された名称る	を表示し	します。					
Audio-Tech	hnica I INI	Кステー	-タス ()		106114	(ለወ _ሙ)		
Audio-Tech	nica INIK	の接続出	・ハ ∨	三二 二 王 二 王 二	. ਤੁਹਾਦਾ ਰ			
	-Technica		(正) / ゼ	医結され	、。 1ていま	せん		
· Auuio-		LINI (<i>1</i> ,	ш U N 13	又17/1i C 1 (U L V ' A	700 ت		
∂ : Audio-	-Technica	LINKが	正しく接	妾続され	いていま	す。		
@ / @ : F	Audio-Tec	chnica L	_INKに障	障害が発	き生して	います	0	
	7 テータフ							
		ホカフィ	1 ス マ レ	・たまニ	ーキオ			
〒 粧田による		121666	19CC	- と衣不	しまり。	•		
₀₀ : リモー	ト制御を受	芝けてい:	ません。)				
₀₀: リモー	ト制御を受	受けてい	ます。					



エラーの状態を表示します。

▲ : エラーがありません。

- ▲:エラーがあります。
- 6 プリセット

プリセットの選択と読み込まれたプリセット名を表示します。

エラー内容表示について

アイコンに三角マークが表示されている場合、アイコンをクリックするとエラー内容が表示されます。エラー内容を確認したあと、アイコンからカーソルを離すと、三角マークは表示されなくなります。

∂

プリセットについて

ウェブリモートやDigital Microphone Managerで設定したビームゾーン・オーディオ・カメラエリア・Setting & Maintenanceの一部の設定を、プリセットとして最大16個まで保存できます。使用シーンによって設定を切り替えることができます。

プリセットを保存する

- 「Preset」をクリックします。
 - 「Preset」には、現在のプリセットの名前が表示されます。

• ATND1061			Preset •
Setting & Ma	aintenance		
✓ System Settings	Device Name		
 General 	Device Name		
 Network Utilities 	Device ID		
> Install Settings	Device Color		
> Presets	LED Settings		
> Logging	Unmute Color		
> System Info	Mute Color		
	Power Save Mode Color		
	Dimmer Settings		
	Enabled		
			Apply

- 2 プルダウンの「Save Preset」をクリックします。
- **3** 保存したいプリセットのスロットをクリックします。
- 4 名前を入力します。
- 5 「Save」をクリックします。
 - プリセットの保存に数分かかる場合があります。

>> マイクロホンの設定がプリセットに保存されます。

 プリセットの書き出し・読み込みについては、Setting & Maintenanceの「Presets」(p.70)を確認してく ださい。

プリセットを呼び出す

- 1 「Preset」をクリックします。
 - 「Preset」には、現在のプリセットの名前が表示されます。

• ATND1061			•O 🛦	Preset •
Setting & Ma	aintenance			
✓ System Settings	Device Name			
 General 	Device Name			
 Network Utilities 	Device ID			
> Install Settings	Device Color			
> Presets	LED Settings			
> Logging	Unmute Color			
> System Info	Mute Color			
	Power Save Mode Color			
	Dimmer Settings			
	Enabled	•		
				Apply

- 2 プルダウンの「Recall Preset」をクリックします。
- **3** 呼び出したいプリセットをクリックします。

>> マイクロホンにプリセットの設定が反映されます。

機能一覧

	項目名	設定値	デフォルト値	プリセッ トに含ま れる項目	レジュー ム	Web Remote
Device Name	Device Name	(最大30文字まで(ASCII コードのみ))	ATND1061	-	\checkmark	~
	Device ID	1~999	0	-	\checkmark	\checkmark
	Device Color	グリーン、イエロー、レッ ド、ピンク、ブルー、シアン	グリーン	-	\checkmark	~
Command Link	Preset Link	On、Off	Off	-	\checkmark	-
	Mute Link	On、Off	Off	-	\checkmark	-
	Power Save Mode Link	On、Off	Off	-	\checkmark	-
	Link Group	1~128	1	-	\checkmark	-
GPI Settings	Port1	Mute、Power Save Mode、 Reboot、Camera Control	Mute	\checkmark	\checkmark	-
	Port2	Mute、Power Save Mode、 Reboot、Camera Control	Power Save Mode	\checkmark	\checkmark	-
Dante Network Configuration ^[1]	Mode	Single Cable、Split	Single Cable	-	~	✓
	Latency	0.25msec、0.5msec、 1msec、2msec、5msec	0.5msec	-	\checkmark	~
Dante & Audio Port Settings ^[1]	IP Config Mode	Auto、Static	Auto	_	~	~
	IP Address	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	\checkmark	✓
	Subnet Mask	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	\checkmark	~
	Gateway Address	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	\checkmark	\checkmark
IP Control & Web Remote Port Settings	IP Config Mode	Auto、Static	Auto	-	\checkmark	\checkmark
	IP Address	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	\checkmark	\checkmark
	Subnet Mask	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	\checkmark	~
	Gateway Address	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	\checkmark	~
Allow Discovery	Enabled	On、Off	On	-	\checkmark	\checkmark

機能一覧

	項目名	設定値	デフォルト値	プリセッ トに含ま れる項目	レジュー ム	Web Remote
IP Control Settings	Port Number	00001~65535	17300	-	\checkmark	\checkmark
	Notification	On、Off	Off	-	\checkmark	\checkmark
	Audio Level Notification	On、Off	Off	-	\checkmark	\checkmark
	Camera Control Notification	On、Off	Off	-	\checkmark	\checkmark
	Multicast Address	0.0.0.0~255.255.255.255	239.0.0.100	-	\checkmark	\checkmark
	Multicast Port Number	00001~65535	17000	-	\checkmark	\checkmark
User Login	Enabled	On、Off	Off	-	\checkmark	\checkmark
	User ID	(8~16文字まで(ASCIIコー ドのみ))	-	_	\checkmark	~
	Password	(8~16文字まで(ASCIIコー ドのみ))	-	-	\checkmark	~
Beam Settings	Beam Sensitivity	Low、Mid、High	Mid	\checkmark	\checkmark	-
	Auto Attenuation	On、Off	On	\checkmark	\checkmark	-
	Attenuation Level	-∞dB~-3.0dB	-14.0dB	\checkmark	\checkmark	-
	Hold Time	0.0sec~10.0sec	1.5sec	\checkmark	\checkmark	-
	Room Type	Dry、Live、Reverberant	Live	\checkmark	\checkmark	-
DSP Mode	DSP Mode	AEC Mode、Voice Lift Mode	AEC Mode	-	\checkmark	\checkmark
	Voice Lift Output Select	Coverage、Priority、 Coverage&Priority	Coverage&Priority	_	\checkmark	√
Dante Tx#6 Signal ^[1]	Dante Tx#6 Signal	Priority 5、Auto Mix	Auto Mix	\checkmark	\checkmark	\checkmark
LED Settings	Unmute Color	ブラック(点灯なし)、レッ ド、オレンジ、イエロー、ピ ンク、パープル、ブルー、ア クア、グリーン、シアン、ホ ワイト	グリーン	\checkmark	\checkmark	✓

機能一覧

	項目名		設定値	デフォルト値	プリセッ トに含ま れる項目	レジュー ム	Web Remote
	Mute Color		ブラック(点灯なし)、レッ ド、オレンジ、イエロー、ピ ンク、パープル、ブルー、ア クア、グリーン、シアン、ホ ワイト	レッド	√	\checkmark	V
	Power Save Mode Color		ブラック(点灯なし)、レッ ド、オレンジ、イエロー、ピ ンク、パープル、ブルー、ア クア、グリーン、シアン、ホ ワイト	シアン	V	V	\checkmark
LED Dimmer	LED Dimmer		On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	\checkmark
Allow Control	Mute		On、Off	On	✓	\checkmark	-
	Power Save Mode		On、Off	On	\checkmark	\checkmark	-
	Preset		On、Off	On	\checkmark	\checkmark	-
Presets	Preset Name		(最大30文字まで)	Preset 1~16	\checkmark	\checkmark	\checkmark
	Boot Up Preset		1~16、Non	-	-	\checkmark	\checkmark
Device	Enabled		On、Off	Off	-	\checkmark	\checkmark
	Protocol		Panasonic AW- UE20/40/50、VISCA over IP	VISCA over IP	-	\checkmark	\checkmark
	IP Address		0.0.0.0~255.255.255.255	-	_	\checkmark	\checkmark
	Port Number		00001~65535	52381	-	\checkmark	\checkmark
Talk Setting	Time To Recall Preset		0.5sec~10.0sec	0.5sec	V	\checkmark	\checkmark
Silent Setting	Enabled		On、Off	On	\checkmark	\checkmark	\checkmark
	Time To Go Back Home		0.5sec~100.0sec	0.5sec	\checkmark	\checkmark	~
	Position		Home、 Preset1~Preset100	Home	\checkmark	\checkmark	~
Logging	Enabled		On、Off	On	-	\checkmark	\checkmark
	Destination		Internal、Syslog	Internal	-	\checkmark	\checkmark
Device	Position (feet/mm)	х		X:16.4feet/5000mm	_	\checkmark	_
		Y		Y:16.4feet/5000mm	-	\checkmark	_
	Altitude		3.3feet/1000mm~部屋の高 さ	2600mm/8.53ft	_	\checkmark	-

	項目名		設定値	デフォルト値	プリセッ トに含ま れる項目	レジュー ム	Web Remote
Channel Settings	Beam CH 1~6	CH #	Coverage、Priority1~5	-	-	-	~
		Input Gain	0dB~+30dB	OdB	\checkmark	\checkmark	√
		Lowcut	On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	\checkmark
		4 Band EQ	On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	\checkmark
		CH Name	(最大10文字まで)	Coverage : CH1 Priority1~5 : CH2~6	\checkmark	\checkmark	-
		CH Color	グリーン、イエロー、ブラウ ン、レッド、ピンク、ブ ルー、グレー、ダークグレー	CH1:グリーン CH2:イエロー CH3:ブラウン CH4:レッド CH5:ピンク CH6:ブルー	~	~	-
		Level	-∞、-120.0dB~10.0dB	0.0dB	~	\checkmark	✓
		CH Mute	On、Off	Off	✓	\checkmark	~
	Analog Input	Mode Select	Mic、Line	Line	\checkmark	\checkmark	\checkmark
		Input Gain	Mode = Mic時:+0.25dB、 Mode = Line時:+0.5dB	0.5dB(Mode = Line Defaultのため)	√	\checkmark	-
		4 Band EQ	On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	~
		CH Name	(最大10文字まで)	Analog In	\checkmark	\checkmark	-
		Level	-∞、-120.0dB~10.0dB	0.0dB	\checkmark	\checkmark	~
		Phantom	On、Off	Off	-	-	~
	Auto Mix	CH Name	(最大10文字まで)	Auto Mix	\checkmark	\checkmark	-
		CH Mute	On、Off	Off	~	\checkmark	-
		Level	-∞、-120.0dB~10.0dB	0.0dB	\checkmark	\checkmark	~
	Analog Output	CH Name	(最大10文字まで)	Analog Out	\checkmark	\checkmark	-
		Unity	+4dBu、-10dBV、-33dBV	+4dBu	\checkmark	\checkmark	\checkmark
		Level	-∞、-120.0dB~10.0dB	0.0dB	\checkmark	\checkmark	~
		CH Mute	On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	-
	Voice Lift	Input Gain	0dB~30dB	OdB	\checkmark	\checkmark	✓
		4 Band EQ	On、Off	On	✓	\checkmark	✓
		CH Name	(最大10文字まで)	Voice Lift	\checkmark	\checkmark	-

	項目名		設定値	デフォルト値	プリセッ トに含ま れる項目	レジュー ム	Web Remote
		CH Color	グリーン、イエロー、ブラウ ン、レッド、ピンク、ブ ルー、グレー、ダークグレー	グレー	\checkmark	\checkmark	-
		Level	-∞、-120.0dB~10.0dB	0.0dB	\checkmark	\checkmark	\checkmark
		CH Mute	On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	-
Auto Mix ^[2]	Enabled		On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	\checkmark
	Weight		-15.0~15.0	0.0	\checkmark	\checkmark	-
Gain Share Mode			Stand Alone、Link	Stand Alone	\checkmark	\checkmark	-
4 Band EQ ^[3]	Mode Change		Easy Mode、Expert Mode	Expert Mode	-	\checkmark	-
	Easy Mode	Type Select	High、Mid、Low	Mid	\checkmark	\checkmark	-
		Tone	Warm、Warm-1、Warm- 2、Warm-3、Warm-4、 Warm-5、Warm-6、Neutral 、Bright-6、Bright-5、 Bright-4、Bright-3、Bright- 2、Bright-1、Bright	Neutral	V	V	-
	Expert Mode	Band#1 Frequency	20Hz~20000Hz	25	\checkmark	\checkmark	-
		Band#1 Gain	-18dB~+18dB	0	\checkmark	\checkmark	-
		Band#1 Q value	0.3~60	0.75	\checkmark	\checkmark	-
		Band#1 Filter type	HPF、LSH、PEQ	PEQ	\checkmark	\checkmark	-
		Band#2 Frequency	20Hz~20000Hz	63Hz	\checkmark	\checkmark	-
		Band#2 Gain	-18dB~+18dB	OdB	\checkmark	\checkmark	-
		Band#2 Q value	0.3~60	0.75	\checkmark	\checkmark	-
		Band#3 Frequency	20Hz~20000Hz	6300Hz	\checkmark	\checkmark	-
		Band#3 Gain	-18dB~+18dB	OdB	\checkmark	\checkmark	-

	項目名		設定値	デフォルト値	プリセッ トに含ま れる項目	レジュー ム	Web Remote
		Band#3 Q value	0.3~60	0.75	\checkmark	\checkmark	-
		Band#4 Frequency	20Hz~20000Hz	16000Hz	\checkmark	\checkmark	-
		Band#4 Gain	-18dB~+18dB	0dB	\checkmark	\checkmark	-
		Band#4 Q value	0.3~60	0.75	\checkmark	\checkmark	-
		Band#4 Filter type	LPF、HSH、PEQ	PEQ	\checkmark	\checkmark	-
AEC	AEC		On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	\checkmark
	AEC Reference		Analog Input、Digital Input	Analog Input	\checkmark	\checkmark	\checkmark
	NLP		On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	-
	NLP Sensitivity		Low、Mid、High	Mid	\checkmark	\checkmark	-
NC	NC		On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	\checkmark
	NC Attenuation Level		0~20	6	\checkmark	\checkmark	-
AGC	AGC		On、Off	Off	\checkmark	\checkmark	\checkmark
	Target Level		-10~10	0	\checkmark	\checkmark	-

[1] ATND1061DANのみ表示されます。

[2] Coverage、Priority 1~Priority 5で個別に設定できます。

[3] Coverage、Priority 1~Priority 5、Analog Inputで個別に設定できます。

トラブルシューティング

マイクロホンに問題が発生した場合は、次を確認してください。また、取扱説明書 -Digital Microphone Manager編-も 併せて確認してください。

- マイクロホンの接続が正しいか確認してください。
- 取扱説明書に記載されているとおりに、マイクロホンを運用しているか確認してください。
- 外部機器が正しく動作しているか確認してください。マイクロホンに接続していない状態で確認してください。
- ネットワーク機器を再起動してください。

(?) 電源が入らない

- マイクロホン背面のネットワークA端子とPoE対応スイッチングハブがLANケーブルできちんと接続されているか確認してください。(ATND1061DANのみ)
- PoE対応スイッチングハブが正しく動作しているか確認してください。(ATND1061DANのみ)
- ATLK-EXT25に電源供給がされているか確認してください。(ATND1061LKのみ)
- LANケーブルはCAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを使用しているか確認してください。

⑦ Digital Microphone Managerまたはウェブリモートでマイクロホンを認識できない

- マイクロホンとパソコンを同じネットワークに接続しているか確認してください。
- ファイアウォールの設定を見直してください。
- Digital Microphone Managerまたはウェブリモートで「Allow Discovery」>「Enabled」を「ON」に設定 しているか確認してください。

(?) ネットワーク上でマイクロホンが見つからない

マイクロホンのファームウェアVer.1.3.0以降で、ネットワーク接続の安定性を向上する目的で、SSDPポート番号を「51000」~「51255」の間からマイクロホンごとの値を取る仕様に変更しています。Ver.1.3.0より前では、固定値「51234」を使用しています。ネットワーク上の設定やファイヤウォールで通信ポートの制限を設定している場合に影響を受ける可能性があります。お使いの環境のネットワーク設定で確認してください。

(?) Dante Controllerでマイクロホンを認識できない(ATND1061DANのみ)

- Digital Microphone Managerで「Dante Network Configuration」>「Mode」の設定が正しいか確認して ください。
- マイクロホン背面のネットワークA端子に接続しているDanteオーディオと接続先のDante機器を同じネットワークに接続しているか確認してください。

? マイクロホンの音が出ない

- Dante Controllerでビーム出力(Danteトランスミッター)が出力先機器のDanteレシーバーに正しくルー ティングされているか確認してください。(ATND1061DANのみ)
- Digital Microphone Managerでエクスクルージョン(収音除外)ゾーンに設定していないか確認してくだ さい。
- Digital Microphone Managerのオーディオ設定で音声入出力レベルが「-∞」(最小値)になっていないか確認してください。
- 各ビームチャンネルがミュートの状態になっていないか確認してください。
- Auto Mixチャンネルを出力に使用している場合、Digital Microphone Managerの各ビームチャンネルの オートミックスの設定が正しいか確認してください。

? アナログ出力から音が出ない

- マイクロホン背面のアナログ入力端子とアナログ出力端子の接続が正しいか確認してください。
- マイクロホン背面のアナログ入力端子とアナログ出力端子のピンアサインが正しいか確認してください。

? 音がおかしい

- Digital Microphone Managerのビーム設定で目的のゾーンを有効範囲に設定しているか確認してください。
- Digital Microphone Managerの4バンドEQの設定が正しいか確認してください。
- 部屋に対してマイクロホンの位置・方向が正しいか確認してください。

? インジケーターが点灯しない

 Digital Microphone Managerで「LED Settings」をブラック(点灯なし)に設定していないか確認してく ださい。

? AECが機能しない

- Digital Microphone Managerまたはウェブリモートで「AEC」>「AEC Reference」の設定が正しいか確認してください。
- DanteオーディオルーティングでマイクロホンのDanteレシーバーの「AEC Ref In」に遠端の音声がルー ティングされているか確認してください。(ATND1061DANのみ)

トラブルシューティング

? プリセット設定が複数台のマイクロホン間で同期しない

 Digital Microphone Managerで、すべてのマイクロホンに対して「General」>「Command Link」> 「Preset Link」を「ON」に設定しているか確認してください。

(?) 赤外線リモコンで操作できない

- 電池の+-の向きが正しいか確認してください。
- 電池が消耗していないか確認してください。消耗している場合は、新しい電池に交換してください。
- Digital Microphone Managerで「IR Receiver」>「Allow Control」を「ON」に設定しているか確認してください。

(?) IPコントロールができない

- マイクロホンとパソコンを同じネットワークに接続しているか確認してください。
- IPコントロールで使用するポートNo.が正しいか確認してください。

(?) IPコントロールの通知がこない

 Digital Microphone Managerまたはウェブリモートで「IP Control Settings」>「Notification」を「ON」 に設定しているか確認してください。

(?) カメラが動かない

- マイクロホンのインジケーターがレッド色点滅(2秒間隔)している場合は、通信ができていません。カメ ラの電源がONになっているか確認してください。また、マイクロホンとカメラを同じネットワークに接続 しているか確認してください。
- マイクロホンのインジケーターがレッド色点滅(2秒間隔)していないのにカメラが動かない場合は、カメ ラエリアとカメラプリセットを正しく設定しているか確認してください。またDigital Microphone Managerまたはウェブリモートで「Camera」>「Enabled」を「ON」に設定しているか確認してください。

? Digital Microphone Managerで項目がグレーアウトされていて操作できない

最新のDigital Microphone Managerと古いバージョンのマイクロホンを接続した場合、対応していない項目がグレーアウトし、操作できない場合があります。マイクロホンを最新のファームウェアにアップグレードしてご使用ください。

トラブルシューティング



• ファームウェアアップデート後にマイクロホンをリセットしなかった場合、VISCA over IPでカメラ連動機 能を使用しているとポート番号が「80」になってしまう場合があります。その場合は、ポート番号を設定し 直してください。

外形寸法図

ATND1061LK



ATND1061DAN



_		
	١	t t
		8
		+

サーフェスマウントアダプター





フラッシュマウントアダプター





フラッシュマウントカバー



タイルブリッジA



タイルブリッジB



タイルブリッジC

22



グリッド天井用のタイルブリッジ組立図



ATND1061LK

一般仕様

電源	DC+48V (Audio-Technica LINK)
消費電力	最大5.2W
動作温度範囲	0°C~40°C
動作湿度範囲	25%~85%(結露なきこと)
外形寸法	227.5mm×227.5mm×30mm (W×D×H)
質量	1,243g
プレナム定格	UL 2043

マイクロホン

ビーム幅	90°
指向特性	ビームパターン
周波数特性	60Hz~18,000Hz
感度	-8dBFS (1kHz、94dBSPL)
ダイナミックレンジ	89dB (A-weighted)
S/N比	61.5dB (A-weighted)
セルフノイズ	25dBSPL (A-weighted)
最大入力音圧レベル	102dBSPL

アナログオーディオ

周波数特性	20Hz~20kHz (+1.0/-2.0dB)		
ダイナミックレンジ	100dB (A-weighted)		
S/N比	80dB (A-weighted)		
ヘッドルーム	20dB		
残留雑音	-75.8dBu (A-weighted)		
全高調波歪率	<0.1% (1kHz、ユニティ)		
アナログ入力	MIC最大:-30dBu MICユニティ:-50dBu LINE最大:+12.2dBu LINEユニティ:-10dBV、Switchable		
アナログ出力	OUTPUT最大:+19.2dBu OUTPUTユニティ:+4dBu/-10dBV/-33dBV、Switchable		

その他

ネットワーク	Audio-Technica Link:100Mbps IPコントロール:100Mbps		
デジタルオーディオ	サンプリング周波数:48kHz ビット深度:24bit		
遅延	マイクロホン(CH1~CH6):18msec マイクロホン(ボイスリフトモード時オートミックスCH):33msec マイクロホン(AECモード時オートミックスCH):50msec		
l/Oコネクター	ネットワーク/Audio-Technica Link: RJ-45 アナログ入力: ユーロブロック3 ピン アナログ出力: ユーロブロック3 ピン GPI: ユーロブロック3 ピン		
ファントム電源	アナログ入力:12V		
付属品	赤外線リモコン サーフェスマウントアダプター ねじ (M4×50mm) ×4 フラッシュマウントアダプター フラッシュマウントカバー ねじ (M4×10mm) ×12 ホールカバー ナット×4 配線保護ブッシュ×2 タイルブリッジA×2 タイルブリッジB×2 タイルブリッジB×2 タイルブリッジC×4 落下防止ワイヤー 結束バンド 安全ベルト ユーロブロックコネクター×3 施工用型紙		

• 改良などのため予告なく変更することがあります。

ATND1061DAN

一般仕様

電源	PoE (IEEE 802.3af Class 0)
消費電力	最大7W
動作温度範囲	0°C~40°C
動作湿度範囲	25%~85%(結露なきこと)
外形寸法	227.5mm × 227.5mm × 30mm (W×D×H)
質量	1,250g
プレナム定格	UL 2043

マイクロホン

ビーム幅	90°
指向特性	ビームパターン
周波数特性	60Hz~18,000Hz
感度	-8dBFS (1kHz、94dBSPL)
ダイナミックレンジ	89dB (A-weighted)
S/N比	61.5dB (A-weighted)
セルフノイズ	25dBSPL (A-weighted)
最大入力音圧レベル	102dBSPL

アナログオーディオ

周波数特性	20Hz~20kHz (+1.0/-2.0dB)		
ダイナミックレンジ	100dB (A-weighted)		
S/N比	80dB (A-weighted)		
ヘッドルーム	20dB		
残留雑音	-75.8dBu (A-weighted)		
全高調波歪率	<0.1% (1kHz、ユニティ)		
アナログ入力	MIC最大:-30dBu MICユニティ:-50dBu LINE最大:+12.2dBu LINEユニティ:-10dBV、Switchable		
アナログ出力	OUTPUT最大:+19.2dBu OUTPUTユニティ:+4dBu/-10dBV/-33dBV、Switchable		

その他

ネットワーク	Dante : IGbps
	IPコントロール:100Mbps
~~~~	サンプリング周波数:48kHz
テンタルオーティオ	ビット深度:24bit
	マイクロホン(CH1~CH6):18msec
N冊 Z11	マイクロホン(ボイスリフトモード時オートミックスCH):33msec
建準	マイクロホン(AECモード時オートミックスCH):50msec
	Dante:最小250usec、最大5msec
	ネットワーク/Dante:RJ-45
	アナログ入力:ユーロブロック3ピン
1/0コネクター	アナログ出力:ユーロブロック3ピン
	GPI:ユーロブロック3 ピン
ファントム電源	アナログ入力:12V
	赤外線リモコン
	サーフェスマウントアダプター
	ねじ (M4×50mm) ×4
	フラッシュマウントアダプター
	 フラッシュマウントカバー
	ねじ (M4×10mm) ×12
	ホールカバー
	・ ナット×4
付属品	ー 配線保護ブッシュ×2
	タイルブリッジA×2
	タイルブリッジB×2
	タイルブリッジC×4
	落下防止ワイヤー
	結束バンド
	安全ベルト
	ユーロブロックコネクター×3
	施工用型紙

• 改良などのため予告なく変更することがあります。

# 指向特性/周波数特性

# 指向特性



J	١	仍	刊





# 商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- macOS、Safariは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Google Chrome は Google LLC の商標です。
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

### Audio-Technica Beamforming Array Microphone ATND1061DAN Signal Diagram



### Audio-Technica Beamforming Array Microphone ATND1061LK Signal Diagram



#### 株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1 www.audio-technica.co.jp

#### Audio-Technica Corporation

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan www.audio-technica.com ©2025 Audio-Technica Corporation Global Support Contact: www.at-globalsupport.com